

# 按分比の設定と自動按分仕訳

シンシステムデザイン <http://www.ssdesign.co.jp>

この説明書は、“らくらく会計”の共通説明書です。

## 1. 自動按分仕訳の概要

次のような自動按分の仕訳を行うと、

水道光熱費 50,000 / 現金 50,000 自動按分

あらかじめ設定した按分比で、各部門に配分することが出来ます。

### おもな注意点

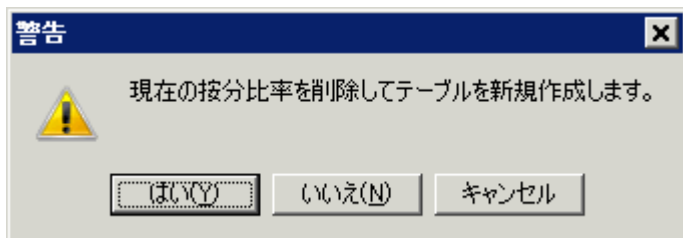
- 按分比が設定できる科目は、P/L科目です。
- 収益（収入）科目と経費（支出）科目に按分比の設定が出来ますが、自動按分の多くは経費科目になると思います。
- 自動按分の設定をしておいても通常の仕訳を行うことが出来ます。（混在が可能）
- 按分比は千分率です。
- この自動按分は、部門間の按分です。事務費と事業費の間の按分は出来ません。
- 部門間のインポート・エクスポートを使う場合は、自動按分仕訳は行わないでください。
- 

自動按分が不要な場合は、ここでの設定は不要です。

## 2. 按分比の設定

初期設定メニュー ⇒ 按分比設定

新規にデータフォルダを作成して最初にこの画面に入ると、次のような画面が出ますので、「はい」を選択してください。



次のような設定画面になりますので、按分したい科目に按分比を設定してください。

按分比(総勘定科目)							
code	科目名	合計	福祉事業	パンダ保育園	本部会計	パンダ保育園	しろくま保育園
56200	事業費/保育材料費						
56220	事業費/本人支給金						
56240	事業費/水道光熱費	1000				650	350
56260	事業費/燃料費	1000			50	600	350
56280	事業費/消耗器具備品費	1000				600	400
56300	事業費/保険料						
56320	事業費/賃借料	1000				600	400
56340	事業費/教育指導費						
56360	事業費/就職支度費						
56380	事業費/葬祭費						

- 仕訳入力ができる科目しか按分比の設定は出来ません。
- 各部門に按分比を設定して、合計は必ず100%としてください。
- 按分比を設定した科目にカーソルポイントを移動させて、「按分比自動設定」のボタンを実行すると、その科目以降の按分比は自動的に設定されます。
- 按分比は運用途中でも変更できますが、出力時に按分比を計算していますので、入力済みの仕訳も含めて再計算されます。
- 按分計算で生じる端数は按分比の一番大きいところに入ります。

### 【補足】

- ・ 按分比を設定した科目でも“自動按分”の区分で仕訳を行わなければ通常の仕訳となります。
- ・ 按分仕訳では、相手科目の特定が必要ですので複合仕訳は出来ません。

### 3. 自動按分の仕訳例

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2	部門 内部取引の相手部門
156240 事業費/水道光熱費	500,000	11060 ひまわり銀行	500,000	自動按分の仕訳例	C自動按分
256240 事業費/水道光熱費	100,000	11060 ひまわり銀行	100,000	パンダ保育園のみの仕訳	4パンダ保育園

- ・ 上図の仕訳例のように、自動按分を行う仕訳には、部門コード欄に0を入れてください。
- ・ 二行目の仕訳は、通常の仕訳です。
- ・ この状態で仕訳伝票を印刷すると、パンダ保育園の割合を650としていましたので、次のように按分されます。

#### 出金伝票

伝票番号 2-1  
2014年04月26日


社会福祉法人 ○○会
パンダ保育園

金額	借方科目 補助科目	摘要名	貸方科目 補助科目	金額
325,000	56240 事業費/水道光熱費		11060 ひまわり銀行	325,000
100,000	56240 事業費/水道光熱費		11060 ひまわり銀行	100,000

- ・ 合計で仕訳伝票を印刷すると次のようになり、パンダ保育園としろくま保育園は、650 : 350 の按分比になっていることがわかります。

#### 出金伝票

伝票番号 2-1  
2014年04月26日


社会福祉法人 ○○会
合計

金額	借方科目 補助科目	摘要名	貸方科目 補助科目	金額
325,000	56240 事業費/水道光熱費	パンダ保育園	11060 ひまわり銀行	325,000
175,000	56240 事業費/水道光熱費	しろくま保育園	11060 ひまわり銀行	175,000
100,000	56240 事業費/水道光熱費	パンダ保育園	11060 ひまわり銀行	100,000

- ・ 内訳表でもパンダ保育園としろくま保育園は次のようになります。  
 パンダ保育園 自動按分 325,00 + 単独仕訳 100,000 = 425,000円
- ・ しろくま保育園 自動按分 175,000円 + 単独仕訳 0 = 175,000円

事業活動内訳表

(自)2014年4月1日 (至)2015年3月31日

社会福祉法人 ○○会

(単位:円)

科目名	福祉事業	パンダ保育園	本部会計	パンダ保育園	しろくま保育園	合計	内部抵消消去	法人合計
【サービス活動増減の部】								
サービス活動収益計(1)								
事業費	600,000	600,000		425,000	175,000	600,000		600,000
水道光熱費	600,000	600,000		425,000	175,000	600,000		600,000
サービス活動費用計(2)	600,000	600,000		425,000	175,000	600,000		600,000
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-600,000	-600,000		-425,000	-175,000	-600,000		-600,000
【サービス活動外増減の部】								
サービス活動外収益計(4)								

【補足事項】

- ・ その他の重要な事項として、自動按分計算は仕訳の入力時点での計算ではなく、各種の帳票の出力時の計算としています。従って、決算時などで按分比率を按分比率を変更しても変更したものが適用されます。
- ・ 例えば、車両等の固定資産は通常複数の部門で共用して使用しても分割しないでどこかの部門で管理されることが多いと思います。その場合でも減価償却費は各部門に按分することがありますので、減価償却費に按分比を設定してください。